

平成 16 年 3 月 4 日 午後 7～9 時

場所：札幌市環境プラザ

第 5 回懇談会 会議録

以下に關しての報告と説明があり，随時，意見交換を行った。参加人数は 26 名。なお，今回も第 4 回懇談会と同様に，懇談会参加者有志と事前に今回の懇談会の進め方等について意見交換を行った。また，この懇談会の進行においても板書等にお手伝いいただいた。

1 報告および説明

(1) つくるーんの活動状況

第 3 回の懇談会において，市が提案した「環境プラザの展示物発展のための企画・作成委員会『つくるーん』の活動状況を報告した。現在の活動の企画として以下のものがある。

- ・ 展示物を使用するワークシートの作成
- ・ 一般の方が参加する札幌市環境マップの作成

(2) 全国の環境関係施設における運営形態について

市より，主に他政令指定都市の環境関係施設の運営形態について説明した（資料 1・2）。

- ・ 環境に関する情報発信や収集，人材育成，貸館など，施設の機能に関しては，どの施設もほぼ変わらない
- ・ 施設の運営や事業への市民の関わり方は，各施設によって異なる。施設の委託先については，都市の外郭団体である協会に委託しているケースがある。
- ・ 施設で行われる各事業に市民が関わるケースは多く見られたが，根本である事業方針の決定について市民が関わる仕組みはほとんどない。しかし，京都の京エコロジーセンターや北海道環境サポートセンターでは，企業や市民団体，学識経験者，行政等で構成される事業運営委員会等で事業方針を決定しており，また，市民の意見を反映するワーキンググループ等が設けられている。

(3) 北海道サポートセンターの運営体制

北海道環境サポートセンターの運営体制について，久保田氏より環境プラザと比較しての説明があった（資料 3）。

(4) 市民の立場からの環境プラザ運営についてのまとめと提案

岡崎氏より，運営という言葉の定義 現在の環境プラザ運営の状況 についての整理した説明と，懇談会を，事業について話し合う場と運営について話し合う場に分けたりどうか という提案があった（資料 4）。

2 意見交換

(1) 環境プラザでしたいこと・提案

(参加者) サタデーテーリング(1) で来館した子供たちに、リサイクルやすごろく、地域通貨を模したゲームなどを通した体験から、様々な事柄や問題を認識させたい。

1・・・札幌市交通局が児童を対象として実施しているスタンプラリー

(参加者) マイホームと関連したシックハウスなど、お父さんが関心を持つようなテーマを扱ったらどうか。

(参加者) 環境プラザで定期的にフリーマーケットをしたらどうか。

(参加者) これから結婚する人たちや子供をもつ親が、化学物質から子供を守るための知識を得ることができる場所にしたらどうか。

(2) 環境プラザに期待すること

(参加者) 子供が楽しんで環境のメッセージを受け取れるような施設であってほしい。

(参加者) 環境問題を前面に押し出すのではなく、例えば気がついたら環境問題に関わっていた、しかも改善できていたという切り口だといい。音楽や遊びなどを通じてそれができればいいと思う。

(参加者) イベントを広げようとした時、周囲にどう働きかけたらいいいのかわからなかった。環境プラザには情報交換ができる場所になってほしい。

(参加者) 環境プラザには情報発信、情報収集の拠点になってほしい。市民団体の情報交換の場としてなど、ネットワークの拠点になってほしい。

(参加者) 多くの市民の環境に対する意識は低いと思う。環境意識の啓発活動を行ってほしい。

(参加者) 行政の政策について市民に周知する場、市民とコミュニケーションをとる場であってほしい。

(参加者) 地域通貨について、もっと広がるよう取り組んでほしい。

(参加者) 自転車は環境に密接に関係がある。交通問題なども含めて取り組んでほしい。

(3) 環境プラザに人を呼ぶための提案

(参加者) 週ごと、月ごとに情報を変えていけばリピーターが増えるのではないかな。

(参加者) デートスポットや観光スポットになるといい。

(参加者) 大人と子供が一緒に行動するようなイベントなどを考えたらどうか。

(4) アースデイ(2) について

(参加者) 4月22日のアースデイにイベントを行い、懇談会参加者以外の市民に環境プラザで何をしたいのか、何を期待するかの意見を聞いたらどうか。引き続き5月、6月にイベントを行うのもいいと思う。まず懇談会参加者の皆さんに、アースデイと一緒にイベントをすることを提案したい。

(参加者) 参加者がイベントに楽しんで関われるように、できることを各自で責任

を持ってやったらどうか。

(参加者)環境プラザに限らず、市内各地でイベントを行ったらいいと思う。その情報が環境プラザで集約されているといい。

(市)懇談会の参加者以外の方からも、環境プラザでしたいこと・期待することなどの意見を聞きたい。懇談会の参加者の皆様には、ぜひ今回提案のあったアースデイ・イベントに関わっていただきたい。

2・・・4月22日。地球に感謝し、美しい地球を守る意識を共有し、地球のために行動する日。1970年にアメリカで開始。日本でも毎年東京や京都などでイベントが行われている。

(5) 周知について

(参加者)懇談会の日程について、今後はホームページのウェブシティさっぽろ(3)にも掲載してほしい。

3・・・民間と行政が協働して地域のサイトをつくるというコンセプトのホームページ。記事は市民が取材をして掲載する。ウェブシティさっぽろのホームページアドレス <http://web.city.sapporo.jp/>

(6) 次回の懇談会について

(市)今は、アースデイ等のイベントを通し、多くの市民から環境プラザへの要望や期待についての意見を聞きたいと考えている。次回の懇談会の開催については、おって周知したい。